



FIH OLYMPIC
QUALIFIER
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【 男子 】

開催日時 4 月 28 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 ----- 10:00	南アフリカ (世界ランク12位)	6	$\begin{pmatrix} 4 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	チェコ (世界ランク23位)
第2試合 ----- 12:30	ブラジル (世界ランク42位)	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 4 \\ 0 & - & 4 \end{pmatrix}$	8	中国 (世界ランク17位)
第3試合 ----- 15:00	日本 (世界ランク15位)	4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	オーストリア (世界ランク21位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

南アフリカ 6 $\begin{pmatrix} 4 & -1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ 2 チェコ

勝点 6 勝点 0
2 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 2 敗

<得点>

南アフリカ : 4分 55分 #25REID-ROSS、7分 #7DRUMMOND、28分 #10NORRIS-JONES、29分 #70分 #18McDADE

チェコ : 14分 SEEMANN、40分 #7BERNATEK

<戦評>

チェコのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から南アフリカが試合の流れをつかみ、4分展開からサークルに持ち込みPCを獲得。#25REID-ROSSのフリックシュートが決まり、先制点を挙げる。南アフリカの猛攻は続き、7分サークル付近からの強いボールを#7DRUMMONDが左からタッチし追加点とする。一方、チェコも速攻からチャンスを作る。14分#17SEEMANNがサークル内でカットしたボールをヒットシュートで決め、1点を返す。チェコの粘り強いDFで追加点を挙げられない南アフリカだったが、28分#10NORRIS-JONES、29分#11LOUWのシュートが決まりで4-1とリードを広げ前半戦を折り返す。後半戦が始まり3点を追うチェコは、40分インターセプトから速攻で前につなぎキーパーを抜こうとするが、南アフリカGK#23PIETERSEの好セーブで止められる。しかし、そのこぼれ球を#7BERNATEKのヒットシュートが無人のゴールに決まる。一方南アフリカもリズムを取り戻し、46分にPCを獲得する。#5SMITHがフリックシュートを放つがチェコGK#1NEUSSERが好セーブをし、追加点を許さない。その後も南アフリカのペースで試合が進み、55分#25REID-ROSSが角度のないところからフリーシュートを打ち、それが豪快に決まり、5点目を挙げる。さらに、このまま終了かと思われた70分、南アフリカが前線でボールをカットし、単独でサークルに入り#18McDADEがリバースシュートを決める。試合はそのまま終わり、6-2で南アフリカが勝利した。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	KIM Hong Lae
ジャッジ	UEDA Koichi STEWART Antony		MADDEN Martin

第2試合

ブラジル 0 $\begin{pmatrix} 0 & -4 \\ 0 & -4 \end{pmatrix}$ 8 中国

勝点 0 勝点 6
0 勝 0 分 2 敗 2 勝 0 分 0 敗

<得点>

ブラジル :

中国 : 4分 67分 69分 #28LIU、6分 #9SONG、21分 #21SUN、32分 #15LIU、44分 #20NA、55分 #22DONG

<戦評>

中国のセンターパスにより前半戦が開始された。中国ペースで試合は進み、細かいパスワークから4分にPCを獲得する。#8JIANGが左に流したボールを#28LIUがフリックシュートで右下に決め先制点を挙げる。さらに6分、PCを獲得した中国は、#9SONGが豪快なフリックシュートを決め追加点を挙げる。一方ブラジルも粘り強い守りからチャンスを作ろうとするが、中国のDFに阻まれサークルに入ることすらできない。中国優位のまま試合は進み21分、32分にも得点を挙げ、4-0で前半戦を折り返す。後半戦に入っても中国ペースで試合は進む。44分#15LINが左サイドからドリブルで突破し、ラストパスを受けた#20NAが強烈なヒットシュートを決める。55分には、PCを獲得。#22DONGが右下にフリックシュートを決め6-0となる。一方ブラジルはGK#1TATARAを中心とした守りから速攻でサークルインするも、決定力を欠き得点を挙げる事ができない。その後も中国が67分、69分とPCを獲得し、#28LIUがハットトリックとなるフリックシュートを決め8-0で中国が勝利した。

テクニカルオフィサー	UEDA Koichi	アンパイア	GREENFIELD Gareth
ジャッジ	MARSH Gary STEWART Antony		GROCHAL Marcin

第3試合

日本 4 $\left(\begin{array}{c} 2 - 0 \\ 2 - 1 \end{array} \right)$ 1 オーストリア

勝点 6
2 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 2 敗

<得点>

日本 : 4分 #14長澤、23分 #17橘、40分 #32坂本、64分 #18福代
オーストリア : 56分 #9KORPER

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。4分日本は、PCを取得。#14長澤の強烈なフリックシュートが左上に決まり、先制点を挙げる。その後も日本は巧みなパス回しで相手を崩し攻め込むも、オーストリアの堅い守備により追加点を挙げる事ができない。試合が動いたのは23分、日本#8小澤が前線でボールをカットし、サークル内の#9田中にパス。ボールを受けた田中から#17橘にボールをつなぎ、橘がGKの動きを冷静に見て、ループシュートを決め、待望の追加点を挙げる。得点の欲しいオーストリアであったが、チャンスを作ることができず、2-0で前半戦を折り返す。

後半戦が開始され、日本は中盤からのインターセプトで40分、#9田中のパスを受けた#32坂本が相手マークを上手く外し、タッチシュートを決めた。諦めず1点を狙いに行くオーストリアに対し、日本DF陣も必死のDFを見せる。しかし、56分、日本DF陣のミスをおーストリア#9KORPERが逃さず拾い、1点を返す。その後もオーストリアが果敢に攻めるが、逆に速攻からのチャンスを得た日本は混戦から#18福代が押し込み4点目を挙げる。そのまま試合が終了。4-1で日本が勝利した。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	TAYLOR Simon
ジャッジ	STEWART Antony UEDA Koichi		PRASAD Raghu

明日の組み合わせ【女子】

第1試合 ----- 13:30	チリ (世界ランク17位)	VS	日本 (世界ランク9位)
第2試合 ----- 16:00	オーストリア (世界ランク29位)	VS	アゼルバイジャン (世界ランク15位)
第3試合 ----- 18:30	ベラルーシ (世界ランク22位)	VS	マレーシア (世界ランク23位)